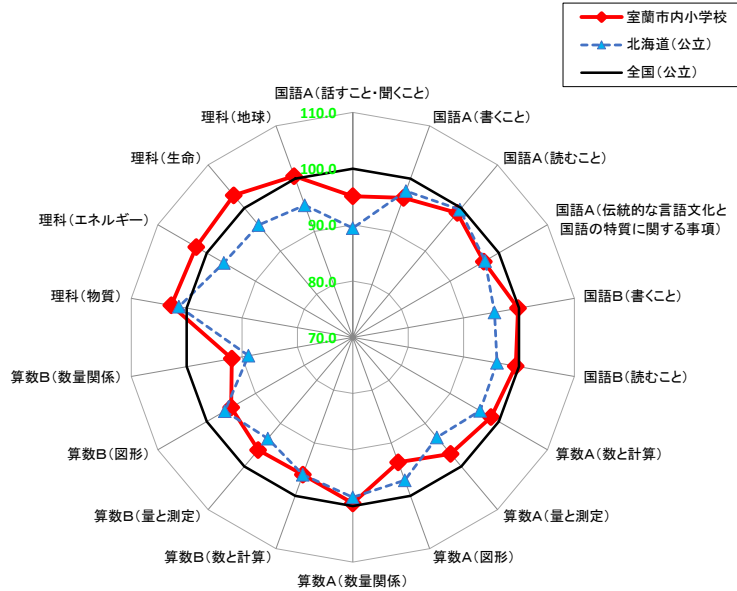


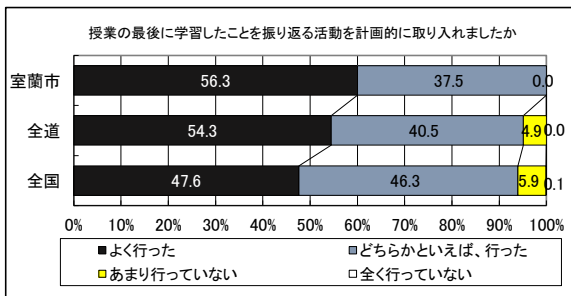
■室蘭市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:16、児童数:668名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



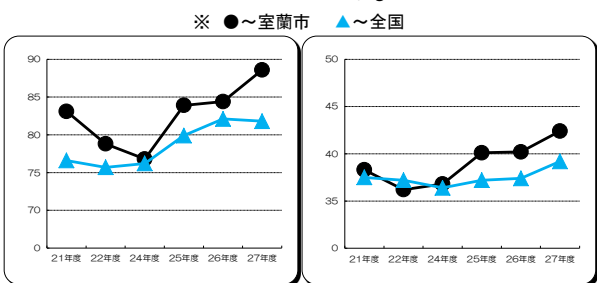
【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】

○ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

○ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語B、算数A、算数Bで全道を上回っている。 ○ 理科では、全国及び全道を上回っている。 ○ 理科では、全ての領域で全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校、教育委員会が一体となって、生活習慣の改善や学習規律の徹底等に取り組んできたことにより、多くの教科で学習習慣が身に付くとともに、学習する基盤ができ、全道を上回る結果に結び付いたと考えられる。 ○ 学校において、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れることにより、学習内容が効果的に定着し基礎学力の底上げが図られた学校が増えてきていると考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「室蘭市いじめ問題総合対策」の推進及び「いじめ未然防止モデルプログラム」の講座の実施などを通して、教職員のいじめに対する意識を高めることにより、児童もいじめの防止に対する高い意識を保てていると考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

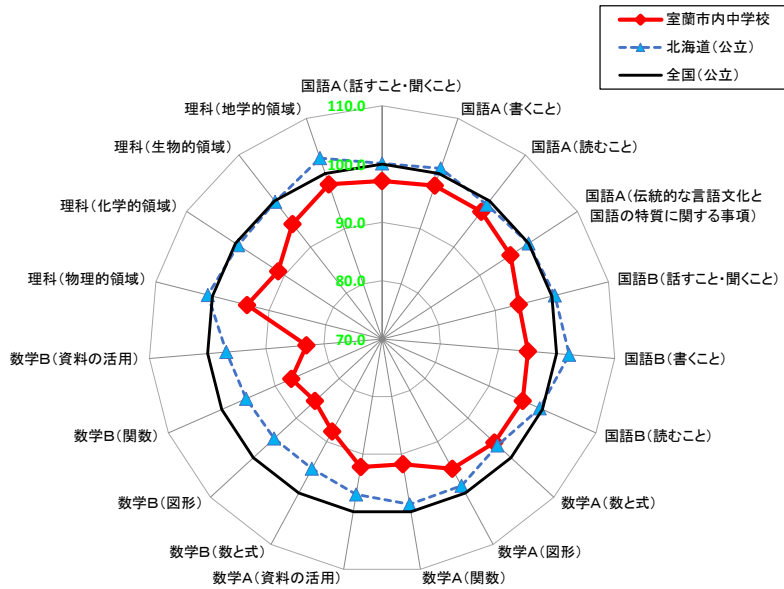
【室蘭市の学力向上策】

- ◎ 平成26年3月に策定した「第2期学力向上基本計画」の評価改善を行い、市内小・中学校、教育委員会が一体となった本市の子どもの確かな学力の向上の取組
- ◎ 教育委員会の取組として、本市独自の学力調査の実施、研究指定校事業、学習支援員の配置、ICT活用推進事業等の実施
- ◎ 室蘭市教育研究所の取組として、言語活動の充実及びICT活用に係る研究推進、研修講座の開催。また、教科化へ向けての道徳・外国語活動に係る調査研究、研修講座の開催
- ◎ 各小・中学校の取組として、第2期学力向上基本計画と連動した学力向上プランの推進(授業改善、校内研修の活性化、学習サポート、小中連携の強化、家庭における学習習慣の確立、学習環境づくり、学習規律の徹底等)

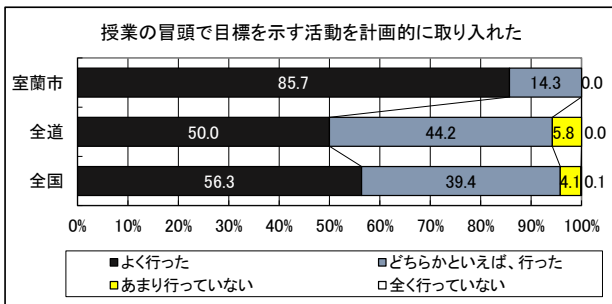
■室蘭市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:7、生徒数:605名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

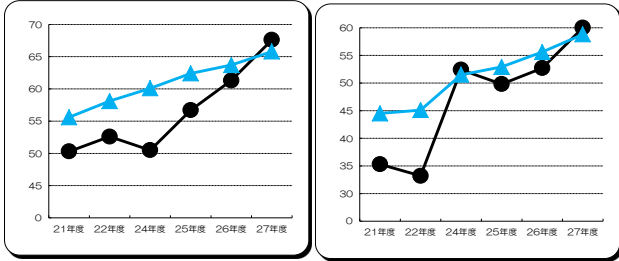


【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】

○ 家で学校の宿題をしている ○ 学校の規則を守っている
※ ● ~室蘭市 ▲ ~全国



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての領域で全道を下回っている。 ○ 数学Aでは「数と式」で全道とほぼ同様になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校、教育委員会が一体となって、学習習慣の徹底、授業改善、学習習慣の確立、小中連携の強化等に取り組んできたことにより、学校の規則を守る生徒が増え、落ち着いた態度で学習する環境が整えられてきた。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で学校の宿題をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学校の規則を守っている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家で学校の宿題をする生徒が増えてきたことにより、計画的に学習に取り組む生徒が増えてきたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の冒頭で目標を示す活動を計画的に取り入れた学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校において、計画的に授業の冒頭で目標を示す活動を取り入れたことや、授業の最後に学習したことを振り返る活動を取り入れたことにより、見通しをもって学習に取り組んだり、効果的に学習内容を定着させたりする生徒が増えていると考えられる。

【室蘭市の学力向上策】

- ◎ 平成26年3月に策定した「第2期学力向上基本計画」の評価改善を行い、市内小・中学校、教育委員会が一体となった本市の子どもたちの確かな学力の向上の取組
- ◎ 教育委員会の取組として、本市独自の学力調査の実施、研究指定校事業、学習支援員の配置、ICT活用推進事業等の実施
- ◎ 室蘭市教育研究所の取組として、言語活動の充実及びICT活用に係る研究推進、研修講座の開催。また、教科化へ向けての道徳・外国語活動に係る調査研究、研修講座の開催
- ◎ 各小・中学校の取組として、第2期学力向上基本計画と連動した学力向上プランの推進(授業改善、校内研修の活性化、学習サポート、小中連携の強化、家庭における学習習慣の確立、学習環境づくり、学習規律の徹底等)